令和５年度高等学校等生徒指導連絡協議会　報告

５月 23 日（火）、新潟県立教育センターを会場に開催しました。

１　目的

高等学校等の生徒指導上の諸課題について幅広い知識と態度および技能を身につけ、その資質や指導力の向上を図る。

２　内容

○　講義「生徒指導における今後の取組」　連絡「ＳＮＳトラブルの防止について」

○　講義「ヤングケアラーについて　～現状とその支援について～」

南魚沼市教育委員会学校教育課スクールソーシャルワーカー　長田美智留　様

○　行政説明「生徒指導提要の改訂を踏まえたこれからの生徒指導の方向性」

文部科学省初等中等教育局児童生徒課　いじめ・自殺等対策専門官　稲川洋生　様

○　報告「令和４年度教育相談基幹研修から学んだこと」

「ヤングケアラーについて」の講義では、学校でヤングケアラーを発見することは、非常に難しいため、授業、部活、行事等をとおして生徒と近い位置にある「学校のつよみ」を生かしたアセスメントが重要であることをお示しいただきました。ヤングケアラーを経験した方が数年後に語った言葉、「学校生活が心の支えであり、自分でいることができた貴重な時間だった」を御紹介いただき、改めて学校に期待される役割を確認できました。

行政説明では、生徒指導提要の改訂について、生徒指導を取り巻く状況の変化を踏まえての改訂の経緯や第１部の総論、第２部の個別の課題等について、以下の内容を中心に説明を頂きました。

・　「させる指導」から「支える指導」への転換
・　児童生徒一人一人が「自己実現」し、「責任ある社会の担い手」となること
・　「自己指導能力」の育成
・　「自己指導能力」を支える「安心・安全な風土の醸成」の視点
・　「発達支持的生徒指導」「教職員の同僚性」「チーム学校」

また、第２部第８章の自殺について取り上げ、希死念慮を持つ生徒に対する対応や声かけについて参加者による協議が行われました。

長田　美智留　様

文部科学省　稲川　洋生　様